



Grow the new Story.
新しい物流で、新しい社会を、共に育む。

SGホールディングス株式会社

2027年3月期第1四半期

決算説明資料

2026年8月7日

1.	エグゼクティブサマリー	1 ~ 4
2.	各セグメント進捗	5 ~ 9
3.	参考資料	10 ~ 24

2027年3月期第1四半期 決算ハイライト

	2027年3月期 第1四半期実績	2027年3月期 第2四半期累計予想	2027年3月期 通期予想
営業収益	4,473億円 前年同期差 +799億円	8,460億円	17,400億円 前期差 +952億円
営業利益	200億円 +26億円	360億円	970億円 +67億円
経常利益	205億円 +26億円	340億円	950億円 +32億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	122億円 +21億円	200億円	600億円 +9億円
ROE			11.0% +0.5pt
ROIC			6.8% △0.2pt

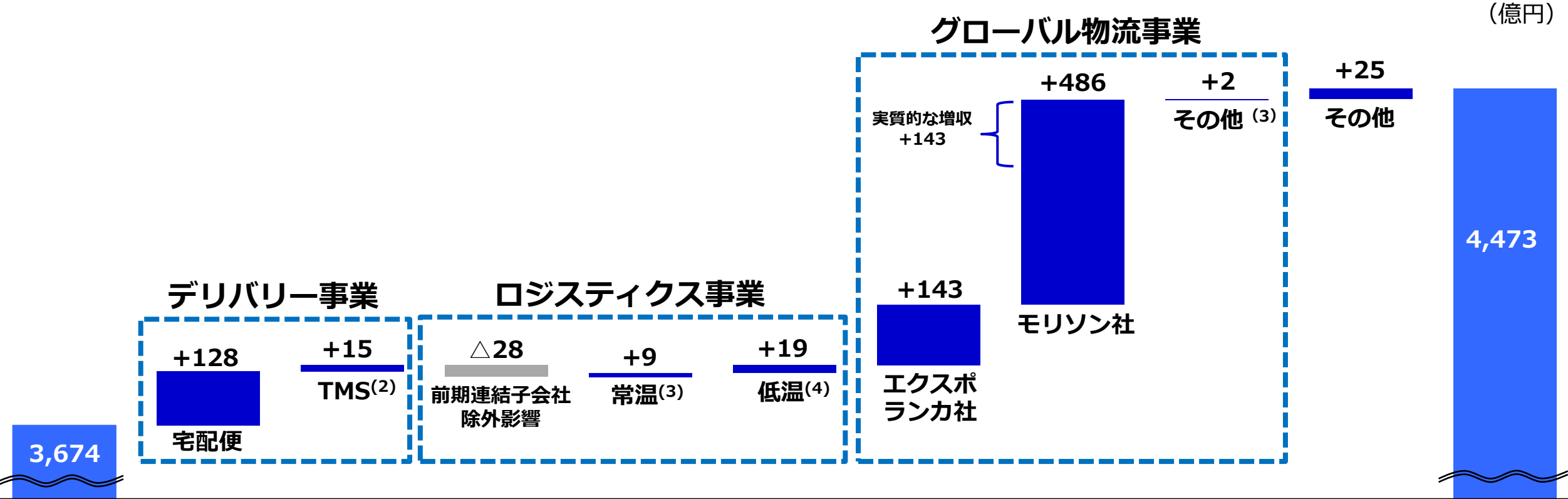
第1四半期
実績

通期予想

- 当第1四半期は増収増益で着地
- デリバリー事業：取扱個数の伸長により増収。利益は堅調に推移
- ロジスティクス事業：低温物流が業績をけん引し、堅調に推移
- グローバル物流事業：航空運賃の上昇基調の機運を捉え、取扱物量も好調に推移し、増収増益
- グローバル物流セグメントは引き続き堅調な推移を見込む一方、グループ全体での事業環境の先行きには不透明感も残ることから、通期業績予想は現時点で修正なし

注記 (1) 億円未満切り捨て

営業収益の増減分析



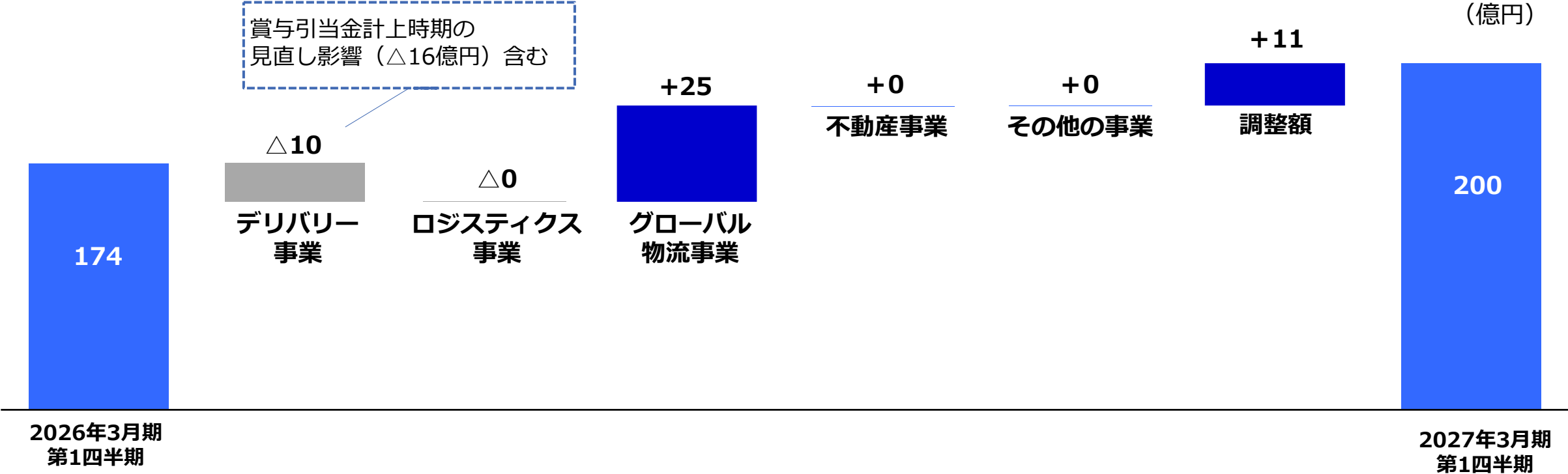
2026年3月期
第1四半期

2027年3月期
第1四半期

【宅配便・TMS】			
➤ 平均単価	:	653円	(前年同期差 △6円)
➤ 取扱個数	:	349百万個	(前年同期比 106.8%)
➤ TMS売上高	:	341億円	(前年同期比 104.8%)

注記 (1) 億円未満切り捨て
 (2) TMSはTransportation Management System、当社グループの物流ネットワークを活用した宅配便以外の付加価値輸送サービス。ロジスティクス事業とグローバル物流事業のTMS売上高を含む (3) TMSを除く (4) 名糖/ヒューテックを指す。名糖/ヒューテックとは、ロジスティクス事業で低温物流を担う事業会社の総称

営業利益の増減分析



デリバリー事業

- ・ 営業収益 +167億円
 - 宅配便売上高 +128億円
 - TMS売上高 +15億円
- ・ 人件費 +67億円
- ・ 外注費 +77億円

※費用詳細はP15参照

ロジスティクス事業

- 【低温物流】 名糖/ヒューテック
- ・ 営業利益 +2億円
- 【常温物流】
- ・ 前期の子会社連結除外影響 △1億円

グローバル物流事業

- 【エクスポランカ社】
- ・ 営業利益 +14億円
- 【モリソン社】
- ・ 営業利益 +36億円
- ・ のれん等償却費 +14億円

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) TMS売上高には、ロジスティクス事業とグローバル物流事業のTMS売上高を含む (3) 費用の増減は前年同期差を表す
 (4) 名糖/ヒューテック、エクスポランカ社、モリソン社の営業利益の増減には、のれん等償却費及びロイヤリティ費用を含まない

1.	エグゼクティブサマリー	1 ~ 4
2.	各セグメント進捗	5 ~ 9
3.	参考資料	10 ~ 24

セグメント別業績

(億円)		2027年3月期 第1四半期	前年 同期比	通期予想	進捗率	評価	主な差異要因（前年同期比）
デリバリー事業	営業収益	2,684	106.7%	10,900	25%		- 営業活動や生産性向上により増収 - サイズ構成変化による単価影響はあるものの、一時的要因を含め全体的に堅調に推移
	営業利益	126	92.6%	760	17%		
	営業利益率	4.7%	—	7.0%	—		
ロジスティクス事業	営業収益	510	99.5%	2,100	24%		- 低温物流における取扱物量の増加や適正料金収受の取組みの進捗により、堅調に推移
	営業利益	19	98.0%	75	26%		
	営業利益率	3.8%	—	3.6%	—		
グローバル物流事業	営業収益	1,127	227.9%	3,800	30%		- 前期2Qからモリソン社連結開始による増収 - 航空運賃の上昇基調の機運を捉えイールドが改善、取扱物量も計画以上に推移
	営業利益	27	2,047.8%	40	68%		
	営業利益率	2.4%	—	1.1%	—		
不動産事業	営業収益	17	98.0%	130	13%		- 前年並みで進捗
	営業利益	12	101.0%	65	19%		
	営業利益率	71.3%	—	50.0%	—		
その他の事業	営業収益	132	101.4%	470	28%		- 大型トラック中心に新車販売の増加等による増益
	営業利益	7	109.9%	20	38%		
	営業利益率	5.7%	—	4.3%	—		

注記 (1) 億円未満切り捨て

デリバリー事業 第1四半期の進捗

- 取扱個数は越境ECの好調が継続、その他でも取扱いが増加。成長領域も好調に推移
- 平均単価はサイズミックス影響を受けるも、取扱個数・コストとのバランスを維持し、営業利益は計画を上回って推移

営業利益の主な変動要因

前期1Q実績 vs 今期1Q実績	→	- コスト増加局面ではあるが、営業活動や生産性向上により前年並み ※ 賞与引当の計上時期の見直しにより、上期は一時的な利益押し下げ影響16億円を見込む
今期1Q計画 vs 今期1Q実績	→	- 燃料価格上昇により計画外のコスト増も生じているが、取扱個数の増加や生産性向上により、利益は計画を上回って推移 - TMSは堅調に進捗

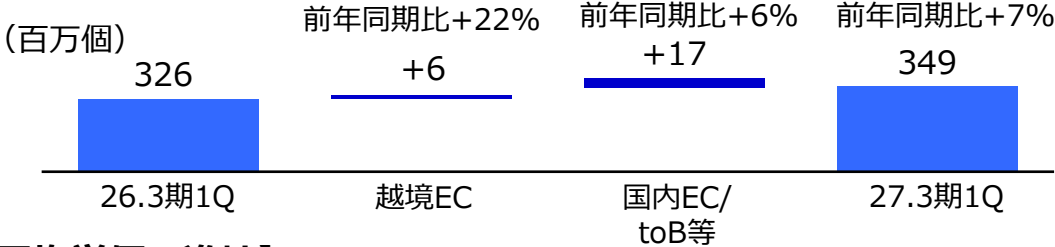
成長領域の進捗

➤ 越境ECは既存顧客の取扱い増加により堅調に推移。高付加価値領域である飛脚クール便[®]、リアルコマース[®]ともに営業活動等の結果、順調に進捗

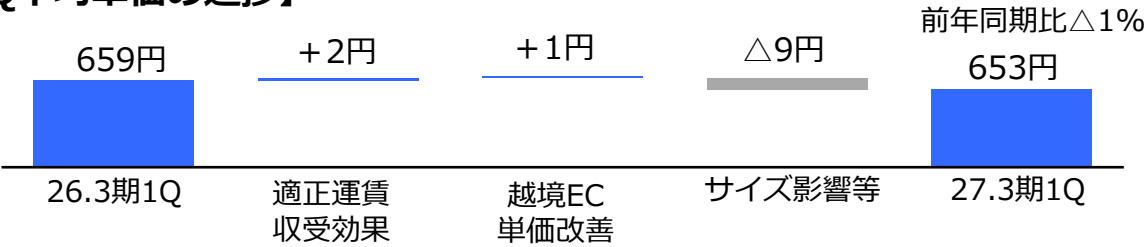
サービス	27.3期通期目標		27.3期1Q実績	
	(前期比)		(前年同期比)	
越境EC [※]	—	—	30百万個	122.3%
飛脚クール便	53百万個	114%	10百万個	108.4%
リアルコマース ⁽¹⁾	4百万個	207%	0.9百万個	418.6%

※越境ECについては、2026年3月期時点で中期経営計画における取扱個数目標を達成したことから、当期は収益性も意識しながら持続的な成長を目指していく方針

【1Q取扱個数の進捗】



【1Q平均単価の進捗】



注記 (1) コンシューマー（個人のお客さま）が立ち寄る場所で提供する配送サービス

中東情勢の影響

1Q
状況

- ・ 燃料価格の上昇により燃料費・外注費が増加
- ・ 営業活動や生産性向上により利益影響を吸収

見通し/
対応策

- ・ 国内では原油の代替調達が進み、供給不足リスクは低減した一方、エネルギー関連コスト面での不確実性は残存
- ・ 事業環境の大幅な変動リスクに備えた仕組みづくりとしてサーチャージ導入は継続検討

ロジスティクス事業 第1四半期の進捗

- 低温物流における取扱物量の増加や適正料金収受の取組みの進展により、堅調に推移
- 2Q以降、低温物流は新規案件や既存顧客深耕により成長を継続、常温物流は案件の本格稼働を通じ収益改善を見込む

営業利益の主な変動要因

前期1Q実績 VS 今期1Q実績	→	低温物流は取扱物量の増加等により堅調に推移した一方、セグメント全体では前期の子会社売却影響により前年並みで着地
今期1Q計画 VS 今期1Q実績	↗	常温物流で新規案件立上げコストが先行したが、低温物流の取扱物量増加や適正料金収受の進展により計画を上回って進捗

【ロジスティクス事業内訳】

		(億円)		
		26年 3 月期 1Q実績	27年 3 月期 1Q実績	前年同期比
ロジスティクス事業（全体） ⁽²⁾	営業収益	485	510	105.2%
	営業利益 (のれん等償却費調整後)	29	30	103.2%
	営業利益率	6.1%	6.0%	△0.1pt
低温物流	営業収益	303	323	106.5%
	営業利益 ⁽³⁾	16	19	117.0%
	営業利益率	5.6%	6.1%	+0.6pt

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 前期連結除外した子会社の業績（営業収益28億円、営業利益1億円）を除いた数値で比較
 (3) 低温物流の営業利益はSGHに対するロイヤリティ費用を含めて表示。参考資料P16の営業利益は、単体実績を示すため当該費用を除外している

低温・常温物流の進捗

- 名糖運輸
(共同配送物量)

↗102.9%

ヒューテックノオリン
(DC事業)

↗101.9%

◀低温物流

主要な配送物量実績前期1Q比較
- 低温：冷凍食品需要の高まりを背景とした共同配送や、コンビニ向け配送の取扱商材拡大による物量増加と、適正料金収受が進展
 - 常温：新規案件立上げに伴う先行費用や設備調達の前倒し等により減益も、2Q以降の収益化に向けた準備は順調に進捗（新規大型案件5件獲得済、下期以降順次利益寄与）

中東情勢の影響

1Q 状況	- 低温物流の輸送費・動力費においては燃料サーチャージが導入済みであるため影響少 - 常温物流においては新規案件のマテハン等を前倒しで納入しコストが先行発生（利益影響は少）
見通し／ 対応策	燃料価格高騰などの事業環境の変化に対する対策は講じており、大きな影響は見込まれない

グローバル物流事業 第1四半期の進捗

- EFLのコスト構造改革は計画どおり進捗中。モリソン社も営業強化の成果が顕在化し、順調に推移
- 航空貨物市況を背景としたイールド改善も寄与。2Q以降は市況を慎重に注視しつつ、構造改革を着実に推進

営業利益の主な変動要因

前期1Q実績 VS 今期1Q実績 ↑	- モリソン社連結開始による増益 - 航空運賃市況の上昇によるイールド改善 - 営業強化による取扱物量確保が奏功し、好調に推移
今期1Q計画 VS 今期1Q実績 ↑	- 想定を上回る航空運賃上昇を背景としたイールドの改善 - 営業強化による計画以上の物量確保

【取扱物量・販売単価 前1Q-当1Q/ 当1Q計画-当1Q実績比較】 (1)(2)

EFL				モリソン社			
		前期比	計画比			前期比	計画比
航空	取扱物量	↗110%	↘96%	航空	取扱物量	↗125%	↗115%
	販売単価	↗128%	↗126%	航空	販売単価	↗108%	↗105%
海上	取扱物量	↗106%	↘94%	海上	取扱物量	↗117%	↗101%
	販売単価	↗109%	↗107%	海上	販売単価	↘98%	↗102%

主要アクションの進捗

- EFLコスト構造改革は計画どおり進捗
- モリソン社の取扱物量拡大・シナジー創出が進展

EFLコスト構造改革	24百万ドル削減に向け構造改革を推進中 1Q時点の削減額は2.3百万ドル
モリソン社営業強化	- 大手半導体メーカーを中心とした営業活動を強化 - 営業活動の成果として、計画を上回る物量を確保
シナジー創出推進	27.3期目標12.0百万ドル達成に向け順調に進捗 1Q時点の効果額は4.0百万ドル

中東情勢の影響

見通し／対応策

- ・ 運賃・イールドの上昇基調は今後徐々に正常化していく認識
- ・ 米国関税政策や地政学リスク等による事業環境の変化も見据え、構造改革・シナジー創出を着実に推進していく

注記 (1) EFLはエクスポランカ社の傘下にあるフォワーディング機能を有する事業会社の総称 (2) モリソン社の取扱実績には、グループ連結前の実績も参考値として追加

1.	エグゼクティブサマリー	1 ~ 4
2.	各セグメント進捗	5 ~ 9
3.	参考資料	10 ~ 24

①連結貸借対照表	P.11	⑧【参考】モリソン社の実績	P.18
②連結キャッシュ・フロー計算書	P.12	⑨連結業績予想及び配当予想（再掲）	P.19
③連結キャッシュ・フロー計算書 主な内訳	P.13	⑩連結業績予想（第2四半期累計）（再掲）	P.20
④連結業績サマリー（四半期連結会計期間）	P.14	⑪セグメント別業績予想（再掲）	P.21
⑤デリバリー事業業績サマリー（四半期連結会計期間）	P.15	⑫シナジー創出による利益成長	P.22
⑥名糖/ヒューテックの実績	P.16	⑬商品・サービスの状況	P.23
⑦エクスポランカ社の実績	P.17	⑭従業員・車両・拠点の状況	P.24

①連結貸借対照表

(億円)	2026年3月期末	2027年3月期 第1四半期末	(億円)	2026年3月期末	2027年3月期 第1四半期末
流動資産	3,834	3,974	負債	6,803	6,946
現金及び預金	967	946	買掛債務	1,012	1,066
営業債権及びその他の債権	2,306	2,492	有利子負債	3,944	3,929
棚卸資産	280	279	その他	1,846	1,951
その他流動資産	281	256			
固定資産	8,455	8,439	純資産	5,486	5,467
有形固定資産	5,443	5,438	親会社株主帰属分	5,461	5,443
のれん	1,455	1,445	非支配株主持分	24	23
その他固定資産	1,555	1,555			
資産合計	12,290	12,414	負債純資産合計	12,290	12,414
			自己資本比率	44.4%	43.9%

注記 (1) 億円未満切り捨て

②連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	302	279
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,339	△ 43
フリーキャッシュ・フロー ⁽²⁾	△ 1,037	236
財務活動によるキャッシュ・フロー	841	△ 219
現金及び現金同等物の増減額	△ 198	△ 1
現金及び現金同等物の四半期末残高 ⁽³⁾	969	927

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー (3) 2027年3月期第1四半期において、預入期間が3か月超の定期預金残高があるため、連結貸借対照表の現金及び預金の金額と一致しない

③連結キャッシュ・フロー計算書 主な内訳

2027年3月期 第1四半期

(億円)

● 営業活動によるキャッシュ・フロー	279
主な内容：	
税金等調整前四半期純利益	193
減価償却費	125
のれん償却額	23
賞与引当金の増減額	(△は減少) 140
為替差損益	(△は益) △ 17
売上債権の増減額	(△は増加) △ 176
仕入債務の増減額	(△は減少) 73
預り金の増減額	(△は減少) △ 16
未払費用の増減額	(△は減少) 34
未払消費税等の増減額	(△は減少) 85
法人税等の支払額	△ 190

● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 43
主な内容：	
定期預金の払戻による収入	19
有価証券の売却による収入	16
有形固定資産の取得による支出	△ 69
無形固定資産の取得による支出	△ 15
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 219
主な内容：	
短期借入金の純増減額	(△は減少) 24
長期借入金の返済による支出	△ 52
リース債務の返済による支出	△ 27
配当金の支払額	△ 164

注記 (1) 億円未満切り捨て

④連結業績サマリー（四半期連結会計期間）

(億円)		2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前年同期差	前年同期比
営業収益		3,674	4,473	+ 799	121.7%
営業費用		3,499	4,272	+ 772	122.1%
	人件費	1,220	1,346	+ 125	110.3%
	外注費	1,686	2,266	+ 580	134.4%
	燃料費	43	54	+ 11	125.9%
	減価償却費	109	125	+ 15	114.4%
	その他経費	439	479	+ 39	109.0%
営業利益 (営業利益率)		174 (4.8%)	200 (4.5%)	+ 26	114.9%
経常利益		178	205	+ 26	115.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		101	122	+ 21	120.8%

注記 (1) 億円未満切り捨て

⑤デリバリー事業業績サマリー（四半期連結会計期間）

(億円)		2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前年同期差	前年同期比
営業収益		2,517	2,684	+ 167	106.7%
営業費用		2,488	2,661	+ 173	107.0%
	人件費	873	941	+ 67	107.7%
	外注費	1,262	1,340	+ 77	106.1%
	燃料費	31	39	+ 7	124.0%
	減価償却費	61	66	+ 4	107.9%
	その他経費	258	274	+ 16	106.2%
営業利益		137	126	△ 10	92.6%
(営業利益率)		(5.4%)	(4.7%)		

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 営業収益は「外部顧客への営業収益」を表示。営業費用は「セグメント間の内部営業収益又は振替高」を含むセグメント営業収益合計に対する営業費用を表示

⑥名糖/ヒューテックの実績

ロジスティクス事業

(億円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前年同期差	前年同期比
営業収益	303	323	+ 19	106.5%
営業原価	275	297	+ 21	107.8%
営業総利益	30	33	+ 3	111.1%
販売費及び一般管理費	10	11	+ 0	103.2%
営業利益	19	22	+ 2	115.6%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 営業収益は「外部顧客への営業収益」を表示。営業原価・販売費及び一般管理費は「グループ内部営業収益」を含む営業収益合計に対する営業費用を表示。ただし、販売費及び一般管理費は、SGHに対するロイヤリティ費用を足し戻した数字を表示。営業利益はこれに基づき算出

⑦エクスポランカ社の実績

グローバル物流事業

(億円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前年同期差	前年同期比
営業収益	388	531	+ 143	137.0%
営業原価	311	437	+ 126	140.5%
営業総利益	76	95	+ 18	124.2%
販売費及び一般管理費	75	80	+ 4	105.6%
営業利益	0	15	+ 14	1,701.9%
航空 数量 (千t) ⁽²⁾	31	34	+ 2	109.5%
海上 数量 (千TEU) ⁽²⁾	41	44	+ 2	106.1%
[参考]為替レート (1\$/円) ⁽³⁾	144.59	159.49	—	110.3%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 小数点以下切り捨て (3) 期中平均レート (累計AR) (4) 営業収益は「外部顧客への営業収益」を表示。営業原価・販売費及び一般管理費は「グループ内部営業収益」を含む営業収益合計に対する営業費用を表示

⑧【参考】モリソン社の実績

グローバル物流事業

(億円)	2026年3月期 第1四半期 (2025年4-6月)	2027年3月期 第1四半期 (2026年4-6月)	前年同期差	前年同期比
営業収益	343	486	+ 143	141.7%
営業原価	272	390	+ 117	143.1%
営業総利益	71	104	+ 33	146.8%
販売費及び一般管理費	54	78	+ 24	145.6%
営業利益	16	36	+ 19	215.9%
航空 数量 (千t) ⁽²⁾	44	55	+ 11	125.3%
海上 数量 (千TEU) ⁽²⁾	20	23	+ 3	116.6%
[参考]為替レート (1\$/円) ⁽³⁾	144.59	159.49	—	110.3%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 小数点以下切り捨て (3) 期中平均レート (累計AR) (4) 2026年3月期第1四半期の実績については、当社グループに連結される前の実績であるため参考値 (5) 2027年3月期第1四半期の営業収益は「外部顧客への営業収益」を表示。営業原価・販売費及び一般管理費は「グループ内部営業収益」を含む営業収益合計に対する営業費用を表示

⑨連結業績予想及び配当予想（再掲）

(億円)		2026年3月期 実績	2027年3月期 業績予想	前期差	前期比
営業収益		16,447	17,400	+ 952	106%
営業利益 (営業利益率)		902 (5.5%)	970 (5.6%)	+ 67	107%
経常利益		917	950	+ 32	104%
親会社株主に帰属する 当期純利益		590	600	+ 9	102%
ROE		10.5%	11.0%	+0.5pt	—
ROIC		7.0%	6.8%	△0.2pt	—
(円)					
1株当たり配当金	第2四半期末	26	27	+ 1	—
	期末	27	27		
	合計	53	54		

注記 (1) 億円未満切り捨て

⑩連結業績予想（第2四半期累計）（再掲）

(億円)	2026年3月期 第2四半期累計 実績	2027年3月期 第2四半期累計 業績予想	前年同期差	前年同期比
営業収益	7,825	8,460	+ 634	108%
営業利益 (営業利益率)	385 (4.9%)	360 (4.3%)	△ 25	93%
経常利益	381	340	△ 41	89%
親会社株主に帰属する 中間純利益	233	200	△ 33	86%

注記 (1) 億円未満切り捨て

⑪セグメント別業績予想（再掲）

(億円)	2026年3月期 実績	2027年3月期 業績予想	前期差	前期比
営業収益 合計	16,447	17,400	+ 952	106%
デリバリー事業	10,485	10,900	+ 414	104%
ロジスティクス事業	2,027	2,100	+ 72	104%
グローバル物流事業	3,215	3,800	+ 584	118%
不動産事業	154	130	△ 24	84%
その他の事業	564	470	△ 94	83%
営業利益 合計	902	970	+ 67	107%
デリバリー事業	701	760	+ 58	108%
ロジスティクス事業	62	75	+ 12	120%
グローバル物流事業	1	40	+ 38	2,917%
不動産事業	103	65	△ 38	63%
その他の事業	26	20	△ 6	76%
調整額	6	10	+ 3	147%

注記 (1) 億円未満切り捨て

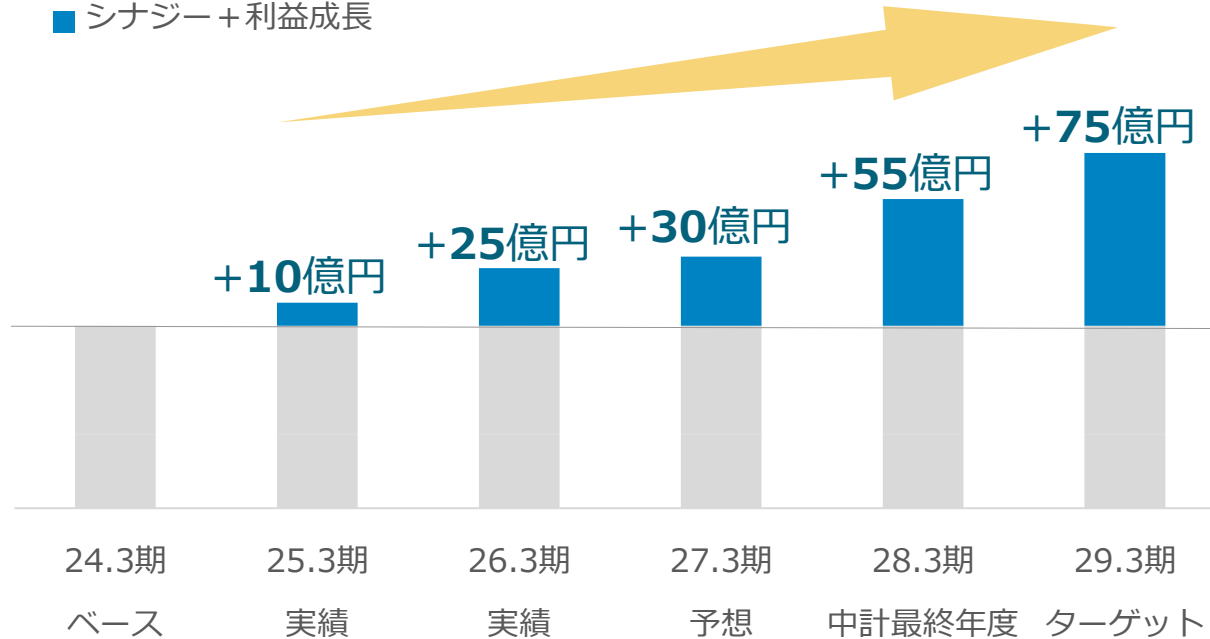
⑫ シナジー創出による利益成長

ロジスティクス事業/グローバル物流事業

【営業利益(のれん等償却前) の成長目線】

■ 低温物流ソリューション（名糖/ヒューテック）⁽¹⁾

■ シナジー+利益成長

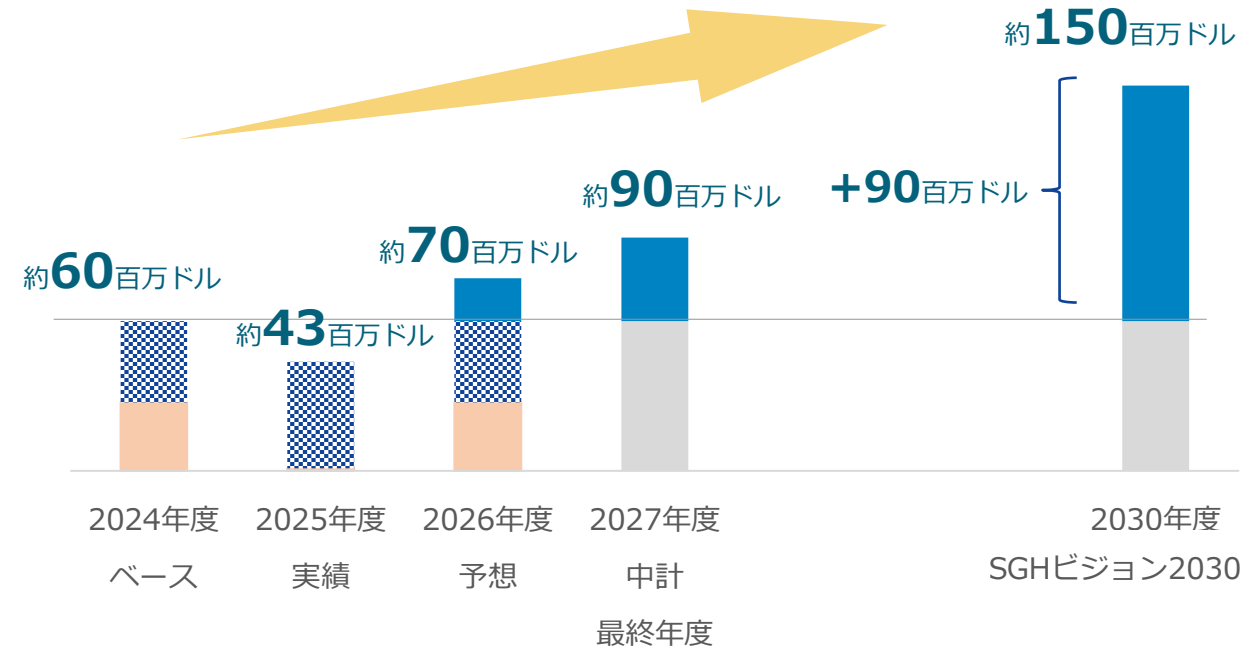


[進捗状況]

- 低温物流における取扱物量の増加や適正料金収受の取組みの進展により、堅調に推移
- 2027年3月期はさらに採算管理を高度化し、基盤強化に優先的に取り組む

■ フォワーディング（エクスポランカ社、モリソン社）

■ エクスポランカ社 ■ モリソン社⁽²⁾ ■ フォワーディング ■ シナジー+利益成長
(エクスポランカ社+モリソン社)



[進捗状況]

- EFLのコスト構造改革は計画どおり進捗中。モリソン社も営業強化の成果が顕在化し、順調に推移
- シナジー創出及び事業構造の改善を図り、中期経営計画の目標達成を目指す

注記 (1) SGHに対するロイヤリティ費用を除く (2) 2024年度のモリソン社の連結数値は、2024年12月期。2025年度以降は、決算月を3月期へ換算

⑬商品・サービスの状況

デリバリー事業 取扱個数・単価の状況

(百万個、円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前年同期差	前年同期比
取扱個数合計	326	349	+ 22	106.8%
飛脚宅配便 [®] (2)	317	339	+ 22	107.0%
その他 ⁽³⁾	9	9	+ 0	102.1%
平均単価	659	653	△ 6	99.2%

[参考] 2027年3月期第1四半期 対前年日数増減：平日△1、土曜+1、日曜祝日±0

TMSの状況

(億円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	325	341	+ 15	104.8%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 飛脚宅配便は、佐川急便(株)が国土交通省に届け出ている宅配便の個数 (3) その他は、飛脚ラージサイズ宅配便[®]の取扱個数

⑭従業員・車両・拠点の状況

(人、台、拠点)		2026年3月期末	2027年3月期 第1四半期末	前期末差
連結従業員数合計 (うちパートナー社員等 ⁽¹⁾)		105,764 (45,281)	106,787 (45,701)	+ 1,023 (+ 420)
佐川急便(株)	デリバリー事業	71,467 (29,609)	72,175 (29,862)	+ 708 (+ 253)
	ロジスティクス事業	21,924 (13,940)	22,229 (14,059)	+ 305 (+ 119)
	グローバル物流事業	7,994 (68)	7,875 (60)	△ 119 (△ 8)
	不動産事業	99 (2)	100 (2)	+ 1 (-)
	その他の事業	3,585 (1,457)	3,712 (1,526)	+ 127 (+ 69)
	全社 (共通)	695 (205)	696 (192)	+ 1 (△ 13)
佐川急便(株)	車両台数	25,757	25,738	△ 19
	主な拠点数	833	835	+ 2
	中継センター	22	22	-
	営業所	429	429	-
小規模店舗 ⁽²⁾		382	384	+ 2

注記 (1) 期中の平均人員数 (2) サービスセンター、デリバリーセンターの合計

ディスクレイマー

本資料は、SGホールディングス㈱（以下、「当社」とします）及びそのグループ会社（以下、当社とあわせて、「当社グループ」とします）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を目的とするものではありません。また、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料に、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述または前提（仮定）は、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクとしては、金利の変動、株価の低下、為替相場の変動、保有資産の価値変動、信用の低下、国内外の企業の生産活動または個人消費の低迷、原油価格の高騰、人件費の高騰、EC市場の低成長、システム・事務・人的・法令違反リスク、不正・不祥事の発生、風評・風説等によるイメージ・信用の低下、事業戦略・経営計画が奏功しないリスク、業務範囲の拡大等に伴う新たなリスク、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、業務提携・外部委託等に伴うリスク、繰延税金資産の減少その他様々な要因が挙げられますが、これらに限られません。

なお、本資料における記述は本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

また、本資料に記載されている当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料中に記載の「飛脚クール便®」「リアルコマース®」「飛脚宅配便®」「飛脚ラージサイズ宅配便®」は当社の登録商標です。